

IPBCダイアログ2024における日本政府主催ブルーカーボンイベント



- 2024年10月2日、IPBCダイアログ2024開催に合わせて、同会議参加者を招待して**日本政府主催でブルーカーボンに関するイベント「Blue carbon actions in Japan」を開催。**
- IPBCダイアログ2024本編においても、日本の取組（地域活動支援、GHGインベントリ算定等）を発信。

<Blue carbon actions in Japan>

主催 環境省

1. ブルーカーボンの取組み紹介

- | | |
|--|-------------------|
| ① 環境省 地球環境局 脱炭素社会移行推進室 | 岡野祥平 企画官 |
| ② 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 | 佐藤淳 主任研究員 |
| ③ 国土交通省 港湾局 海洋・環境課 港湾環境政策室 | 中嶋義全 室長 |
| ④ 横浜市 脱炭素・GREEN×EXPO推進局
脱炭素ライフスタイル推進課 | 越川裕介 係長 |
| ⑤ 同志社大学 ハリス理化学研究所
・日本テレビブルーカーボンプロジェクト学術監修 | 柘太一 助教 |
| ⑥ 富士通株式会社 コンバージングテクノロジー研究所 | 境克司 シニアリサーチマネージャー |
| ⑦ 合同会社シーベジタブル | 濱田航 パートナーシェフ |

プログラム

2. パネルディスカッション

上記 及び 日本テレビ放送網株式会社 報道局 越智慎一郎 チーフプロデューサー

ポイント

- ・各国政府、研究機関、活動団体等のブルーカーボン担当者に対し、我が国の産官学関係者により、政策、炭素クレジット、地域取組、モニタリング技術、サイエンスコミュニケーション、メディア活動等、日本における活動や経験を共有。
- ・各国参加者から、取組に関して多大な関心が寄せられ、活発な質疑が行なわれた。
- ・ワークショップ後には、会場のホールにて合同会社シーベジタブルの監修による、**日本産海藻を使った料理**を提供。各国ではあまりなじみのない、海藻料理を体験いただくとともに参加者間のコミュニケーションを醸成。
- ・各国参加者と日本企業間で今後の展望や連携可能性に関する議論が行なわれるなど、活発な意見交換がなされた。



参加者全員での集合写真



パネルディスカッション



海藻を使った新たな食の提案（レセプション）

我が国の取組紹介

政府、地方公共団体、メディア、ICT企業、サイエンスコミュニケーションの各分野から、ブルーカーボン推進の取組について紹介。



パネルディスカッション

ブルーカーボンの今後の展開に関して、諸外国が関連活動をする上で重要な点を含めて議論。参加者からも様々な質問が出た。



レセプション

立食のビュッフェスタイルにて、日本産海藻を使ったメニューを含む食事を提供。海藻料理を囲みつつ、参加者同士が懇談。日本企業との連携可能性に関する議論など、活発な意見交換がなされた。

海藻を使ったメニュー

- ・「トサカノリ」と野菜のサラダ
- ・「ハバノリ」とラム肉のソーセージ
- ・「アオノリ」のティラミス



(参考) 国際パートナーシップへの加盟 (令和5年8月)



- 2015年のCOP21で発足した、**ブルーカーボン推進のための国際パートナーシップ (IPBC) について、我が国環境省として令和5年8月に正式加盟。**
- UNESCOの協力のもと、オーストラリア気候変動・エネルギー・環境・水資源省 (DCCEEW) が中心となり運営。**他国の取組状況の把握、我が国の取組の発信等を予定。**

*IPBC: International Partnership for Blue Carbon

● ビジョン :

- 世界のすべての沿岸のブルーカーボン生態系 (マングローブ、干潟、海草) が保護され、持続可能な形で管理され、あるいは復元され、気候変動の緩和、適応、生物多様性、海洋経済、沿岸地域社会の生活に貢献すること

● 目的 :

- ブルーカーボンに係る普及啓発、知識の共有、及び活動推進のため、政府、実務者、及び科学者を結びつけること

● ゴール :

- ① ブルーカーボン生態系を保全するための国際約束を増加させること
- ② ブルーカーボン生態系を保全、保護、再生するための国内政策を進めること
- ③ ブルーカーボンに係る保全、保護及び再生活動の着実な実施を加速すること

● メンバー及び組織体制

- 政府 : オーストラリア (コーディネーター)、米国、フランス、英国、UAE、韓国等19カ国の省庁
- 非政府組織 : WWFなど13組織
- 研究機関 : 港湾空港技術研究所 (日本) 等17機関
- 国際機関 : UNESCO、IUCN等9機関

● 活動内容

- COP等におけるWS開催、ダイアログ会合 (年1回) 開催、不定期オンライン会合、報告書やパンフレット作成等。
- 直近の第5回ダイアログ会合 (2023年2月、於 : UNESCO本部、フランス) には、オンライン・対面合わせて21カ国から80名程度が参加。

